

# 6 誇りある暮らし実現プロジェクト

H29予算案  
31億3,335万5千円

## 地域づくり人材の育成、交流促進

- 元気な地域づくり人材の育成(280万6千円)企画振興部
    - ・地域に飛び出せ！信州元気づくり実践塾の開催
    - ・地域おこし協力隊研修会・交流会の開催、サポート体制の構築
- ➡ **地域づくり人材の確保・育成による地域活力の創出**

- 移住・交流施策の推進(6008万6千円)企画振興部
    - ・三大都市圏に移住相談窓口を設置
    - ・移住希望者が県内で働くための情報を一堂に集めた相談会の開催
    - ・地方暮らしの魅力を伝えるセミナーの開催
- ➡ **信州の多様なライフスタイルを紹介し、交流人口を増加**



相談会(イメージ)

(H28年度までの主な成果)

- ・地域をけん引する「地域づくりリーダー」を育成
- ・「地域に飛び出せ！信州元気づくり実践塾」から47名の塾生が卒業 (H26～H27)
- ・各地で地域おこし協力隊が活躍中 ※隊員数：159人 (H27.4) →241人 (H28.4)

## 身近な自然環境の保全創造

- 諏訪湖の環境改善(2億6862万6千円)環境部、農政部、建設部
    - ・諏訪湖のあるべき姿を示す「諏訪湖創生ビジョン」の策定
    - ・ヒシの刈取り等による水質浄化の推進及び水辺の整備
    - ・ワカサギ等の大量死の原因と考えられる貧酸素対策の推進
  - 外来生物戦略の構築(227万3千円)環境部
    - ・効果的な駆除活動の実施に向けた対策方針の検討及び駆除技術の開発
- ➡ **信州の強みである「豊かな自然環境」を保全・再生**



刈取り船によるヒシ除去

(H28年度までの主な成果)

- ・諏訪湖に造成した砂地化試験地で淡水性のシジミの生息を確認(H28.12)

## 美しい景観の維持創造

- 世界に誇る信州の農村景観の育成(308万9千円)建設部
  - ・美しい農村風景を展望できるビューポイントの整備補助
  - ・来訪者にふるさと風景の魅力を伝える風景の「語り部」の育成



『ふるさと信州風景100選』絶賛発売中

➡ **美しい信州の農村景観の保全と活用**

(H28年度までの主な成果)

- ・「ふるさと信州風景百選」の発刊、ビューポイント整備件数:38件 (H25～28)

## 個性際立つ文化芸術の振興

- 「芸術監督団」事業(3924万5千円)県民文化部
    - ・県全体の文化芸術の振興に向けた先駆的事業の実施、助言・提案
    - ・文化施設等の専門的な人材育成や学校教育における文化芸術の活用
- ➡ **文化芸術による人づくり・地域づくりを推進**

- 「長野県文化芸術振興ビジョン」(仮称)の策定(122万2千円)県民文化部
    - ・長野県の文化芸術施策の方向性を明らかにするビジョンを策定
- ➡ **県民一人ひとりが人生を楽しむことができる「文化県」を目指す**

- 信濃美術館の整備(2億3979万6千円)県民文化部
    - ・信濃美術館本館の基本設計
    - ・東山魁夷館のバリアフリー化、改修 など
- ➡ **県民参加により信濃美術館の整備を推進**



信濃美術館

(H28年度までの主な成果)

- ・2016セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催 (H28.8.9～9.9(32日間))
- ・スクリーンコンサート2か所、特別出前コンサート2か所、銀座NAGANOでイベントを開催

達成目標(指標名)	計画策定時の現状	最新実績値	目標(H29)	見通し
行政サポートによる移住者数	456人 (H23年度)	927人 (H27年度)	1,000人 (H29年度)	○
都市農村交流人口	546,544人 (H22年度)	604,427人 (H27年度)	600,000人 (H29年度)	○
自分の暮らしている地域に誇りを感じる人の割合	83.9% (H24年度)	80.6% (H27年度)	維持・向上 (H29年度)	
文化芸術活動に参加した人の割合	62.5% (H24年度)	64.9% (H27年度)	70.0% (H29年度)	

# 7 活動人口増加プロジェクト

H29予算案  
19億4,806万9千円

## 少子化対策の推進

- 第3子以降の保育料を軽減する市町村を支援(2億6682万3千円) 県民文化部
  - 信州母子保健推進センターにおける事業推進(632万1千円) 健康福祉部
    - ・市町村との協働、専門機関との連携等を通じて、妊娠・出産・子どもの成長を一貫して支援する体制整備のため、母子保健推進員の増員
  - 困難を抱える学生の県内大学修学を支援(1015万円) 県民文化部
    - ・給付型奨学金制度により、経済的な困難を抱えながら県内大学で学ぶ学生の修学継続を支援
- ※「ルートイングループ・永山勝利」大学修学等支援基金及び長野県こどもの未来支援基金(企業局拠出)活用事業
- 信州やまほいく(信州型自然保育)の普及(494万6千円) 県民文化部
    - ・認定団体数の拡大、ポータルサイト等による情報発信の実施

➡ **信州ならではの多様な支援による  
安心と希望の子育て環境づくり**



信州やまほいく

(平成28年度までの主な成果)

- ・「信州やまほいく(信州型自然保育)認定制度」による認定(認定団体:72団体(H27年度末)→115団体(H28年度末))
- ・「信州母子保健推進センター」の開設(H27.4)、母子保健推進員の配置(H28年度)

- ながの出会い応援プロジェクトの推進(2470万6千円) 県民文化部
  - ・未婚者の出会いの機会を拡大するため、「長野県婚活支援センター」を拠点として、市町村や企業等と連携して結婚を希望する方を応援

➡ **結婚を希望する方の出会いの機会の拡大による  
結婚しやすい環境づくり**

(平成28年度までの主な成果)

- ・「長野県婚活支援センター」の開設(H28.10)
- ・婚活サポーター活動による成婚82組(H25.9~H28.9)

## 移住交流の推進

- 移住・交流施策の推進(6008万6千円) 企画振興部
  - ～移住先人気No.1「移住先進県 長野」の確立～



相談会(イメージ)

- ・三大都市圏に移住相談窓口を配置
- ・移住希望者が県内で働くための情報を一堂に集めた相談会の開催
- ・UIターン情報提供サイト「Iターン信州」の改修・運営及び首都圏での就業相談体制の充実

- 県営住宅リノベーションモデル事業の推進(1839万9千円) 建設部

- ・子育て世帯に向けた県営住宅のリノベーションをモデル的に実施
- ・県営住宅の入居資格の見直しによる移住・定住の促進

➡ **官民連携により、移住前から移住後まで総合的にサポート**

(平成28年度までの主な成果)

- ・銀座NAGANOでターゲットを絞ったセミナー、相談会を開催(H27.4~H28.12:41回、961人)
- ・県内の空き家を一覧で検索できる「楽園信州空き家バンク」を開設(H27.8)

## 県民協働の推進

- NPOとの協働推進(669万4千円) 県民文化部

- ・公共的活動応援サイト「長野県みらいベース」の利用促進に向けたPR強化
- ・専門的な知識・経験を持つボランティア(プロボノ)とNPO等とのマッチングを支援

➡ **公共的活動への参加促進と協働の推進**

(平成28年度までの主な成果)

- ・「長野県みらいベース」による支援(寄附受領総額:2145万8千円(H27年度末)→3334万1千円(H29.1末))
- ・県とNPOとの協働事業の実施(179件(H27年度)→184件(H28年度予定))

達成目標(指標名)	計画策定時	最新実績値	目標(H29)	見通し
県の推計値を上回る出生数	—	640人(H27年) <small>参考: 推計値 14,998人 実績値 15,638人</small>	600人(年)	○
行政サポートによる移住者数	456人(H23年度)	927名(H27年度)	1,000人(年度)	○
公共的活動への参加度	36.6%(H24年度)	43.6%(H27年度)	50.0%(年度)	○

# 8 教育再生プロジェクト

H29予算案  
151億5,608万4千円

## 学力・体力の向上と多様な学びの推進

- 「未来を拓く学力」の向上(654万1千円)教育委員会
    - ・基礎的、基本的な知識・技能や活用する力を身に付けられるよう各学校を支援
    - ・次期学習指導要領改訂に対応する計画の策定
  - ICTを活用した学びの推進(2億4699万円)教育委員会
    - ・学力向上のための教科学習におけるICT機器の整備・活用
    - ・RESASを活用した地方創生のための探究学習の実施
  - グローバル人材の育成(2億4019万9千円)教育委員会
    - ・「学校内の学び」から「社会に開かれた学び」のあり方を研究するため、学校と大学生主宰団体をつなぐプラットフォーム設立に向けた検討を開始
  - 「信州学」の推進(1289万9千円)教育委員会
    - ・信州学推進委員会を設置し、各高校が行う地域の特色を活かした信州学の推進を支援
    - ・信州学の取組成果を発表する「信州学サミット」の開催
  - 特別支援教育の充実(7億6961万4千円)教育委員会
    - ・特別支援学校の自立活動担当教員の増員、LD等通級指導教室担当教員の増員
    - ・特別支援学校へ技能検定をモデル的に導入
  - 「学びの改革(高校フロントランナー改革)」の推進(274万9千円)教育委員会
    - ・「新たな社会を創造する力」を育むため、「新たな教育の推進」と「新たな高校づくり」に一体的に取り組むための実施方針を策定
- ➡ 一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばす教育の実現



タブレットと電子黒板を活用したアクティブ・ラーニング



フィールドワークを通じた探究活動

- (H28年度までの主な成果)
- ・国に先駆けて小・中学校全学年で30人規模(35人以下)学級を導入  
中学1年生に導入(H23)→中学2年生に拡大(H24)→中学3年生に拡大(H25)
  - ・「長野県版運動プログラム」の開発・普及  
幼児期から中学生期までの一貫したプログラムを開発・普及し、楽しみながら体を動かして遊ぶ習慣の定着促進
  - ・地方創生のモデルとなる新しい高校づくり  
白馬高等学校に国際観光科を設置し、生徒の全国募集を実施  
国際観光科入学者のうち県外出身者数:13名(H28.4)
  - ・キャリア教育の推進  
就業体験活動を実施した生徒数の割合(高校生):80.2%(H27) 等



幼児の運動遊び(長野県版運動プログラム)

## 地域に開かれた信頼される学校づくり

- スクールソーシャルワーカーの活用(6255万3千円)教育委員会
    - ・社会福祉や精神保健福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーの配置を一層拡充
- ➡ 子どもの貧困対策の取組を強化

(H28年度までの主な成果)

- ・「信州型コミュニティスクール」の推進  
信州型コミュニティスクールに取り組む県内公立小・中学校:435校(79.4%)(H28.12)
- ・スクールカウンセラーの配置拡充(H27)、「学校生活相談センター」の設置(H27) 等

## 高等教育全体の振興

- 信州高等教育支援センターの運営(522万3千円)県民文化部
    - ・県内大学の公立化や学部設置など大学改革を支援
  - 新県立大学の設立準備(81億299万4千円)総務部
    - ・三輪キャンパス及び後町キャンパスの建設、大学広報や入学者選抜の実施など、平成30年4月開学に向けた準備を推進
- ➡ 県内高等教育の充実による知の拠点づくり



長野県立大学(仮称)イメージ

(H28年度までの主な成果)

- ・信州高等教育支援センターを設置(H28)、大学生海外インターンシップを支援(H28~)
- ・新県立大学の設立準備が着実に前進  
新校舎建設に着手(H27)、大学設置の認可申請(H28.10) 等

## 生涯にわたる学びの環境整備

- 図書館改革の推進(1185万3千円)教育委員会
    - ・これからの図書館実現フォーラムの開催による意識変革・人材育成と、新たな時代にふさわしい学び方“co-learning”モデルの提案
- ➡ 社会的な新しい価値を創造しようとする人々の多様な「学び」を支援

(H28年度までの主な成果)

- ・信州大学付属図書館との連携協定の締結、課題解決型ワークショップの実施(H28) 等

# 教育再生プロジェクト

達成目標（指標名）		計画策定時	最新実績値	目標（H29年度）	見通し
学校満足度	小学校	90.4%（H23年度）	90.0%（H27年度）	92.0%（年度）	
	中学校	85.7%（H23年度）	86.6%（H27年度）	90.0%（年度）	
	高等学校	75.3%（H24年度）	78.3%（H27年度）	80.0%（年度）	○
全国学力・学習状況調査					
	「基礎的・基本的な内容の定着度」が全国平均より高い児童生徒の割合	小学校 61.8%（H24年度） 中学校 56.5%（H24年度）	小学校 64.4%（H28年度） 中学校 54.2%（H28年度）	小学校65.0%（年度） 中学校60.0%（年度）	
	「学習したことを実生活の場面に活用する力」が全国平均より高い児童生徒の割合	小学校 58.0%（H24年度） 中学校 53.8%（H24年度）	小学校 57.1%（H28年度） 中学校 52.2%（H28年度）	小学校60.0%（年度） 中学校56.0%（年度）	
全国体力・運動能力、運動習慣等調査での体力合計点（全国順位）		31位（H22年度）	23位（H28年度）	10位台（年度）	
信州型コミュニティスクールの実施割合（小・中学校）		0%（H24年度）	79.4%（H28年12月）	100%（年度）	○
就業体験活動を実施した生徒数の割合（高校生）		52.2%（H24年度）	80.2%（H27年度）	100%（年度）	○
英語コミュニケーション能力水準	英語検定3級レベル（中学生）	19.8%（H23年度）	33.7%（H27年度）	40.0%（年度）	○
	英語検定準2級レベル（高校生）	30.0%（H23年度）	34.4%（H27年度）	40.0%（年度）	